

学校関係評価委員会のコメントに対する検討結果

令和元年度学校関係評価（自己評価）に対する学校関係評価委員会のコメントを受け、当センターとして検討した結果、今年度は以下について重点的に取り組んでいく。

1. 新型コロナウイルス感染防止対策のためのリモート授業への対応は利用者の協力も得て実施に向けた対応をすすめており、全利用者の自宅におけるWi-Fi環境と使用の可否の調査も終了している。

一部の利用者は、実際に自身のPCやタブレットを使用してリモートによる通信が可能な状況である。今後は、全利用者が、自身でリモート通信可能となるよう進め、利用者がICTを活用した、能動的な学習ができるよう推進する。

2. あはき師国家試験合格率の維持・向上は、国立障害者リハビリテーションセンター第3期中期目標の一つであり、令和2年度の運営方針及び組織目標にしたがい、利用者の学力と実技力の向上に努めている。

今年度は新型コロナウイルスにより実施できなくなった長期休業期間中の支援の代わりに、課題を配布して学習の空白期間をなくすこととした。また、利用者個々の不得意分野を見極めて、その克服のための学習を利用者とともに考え、各自に適した受験対策を実施し、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師国家試験の、全員合格を目指す。

3. 防災・安全管理は、当センターとして必要で実施可能な内容を十分検討し、防犯マニュアルの作成やその他関係するマニュアル等を整備し、防災・安全管理に対する職員間の意識を統一するとともに、過去のインシデントなどの検証から、事故を起こさない支援を実施する。

4. パソコン等の利活用による業務の効率化においては、端末に接続の不具合が生じており、関係専門家などによる原因究明を複数回実施したが、その原因の特定には至っていない。

現在、新たなネットワークの作成を始めており、まず、次期ネットワークが、使用しやすく不具合が発生しないよう組織的な調査を開始した。